

小児がん地域計画書(近畿ブロック)

京都府立医科大学附属病院

京都大学医学部附属病院

兵庫県立こども病院

大阪市立総合医療センター

大阪府立母子保健総合医療センター

(順不同)

(2013.12.19)

地域連携

- 拠点病院5施設はいずれも高度な小児がん医療を担ってきた実績がある。主として標準リスク患者を診療する小児がん診療病院と協力しながら、再発症例など難治性小児がん患者を近隣地域のみならず近畿ブロック以外の他府県からも受け入れる。
- 拠点病院が担当する地域は、それぞれの施設の周辺地域を中心としながらも、施設ごとに得意とする疾患・病態に関しては地域を問わず患者を受け入れる方針である。
- 特定の拠点病院と密接な協力・連携関係にある場合も、今後は近畿ブロック全体の協力・連携体制の中で小児がん医療を担う。

近畿ブロック小児がん診療病院(27施設)

所在地(府県)	施設名
京都府	国立病院機構舞鶴医療センター
京都府	京都市立病院
京都府	京都桂病院
滋賀県	滋賀医科大学附属病院
滋賀県	大津赤十字病院
福井県	福井大学医学部附属病院
福井県	福井赤十字病院
兵庫県	姫路赤十字病院
兵庫県	兵庫県立塚口病院
兵庫県	西神戸医療センター
兵庫県	神戸大学医学部附属病院
兵庫県	兵庫医科大学病院
兵庫県	明石市立市民病院
大阪府	大阪大学医学部附属病院
大阪府	大阪市立大学医学部附属病院
大阪府	近畿大学医学部附属病院
大阪府	国立病院機構大阪医療センター
大阪府	関西医科大学附属枚方病院
大阪府	大阪医科大学附属病院
大阪府	大阪赤十字病院
大阪府	北野病院
大阪府	松下記念病院
奈良県	奈良県立医科大学附属病院
奈良県	天理よろづ相談所病院
奈良県	近畿大学医学部奈良病院
和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院
和歌山県	日本赤十字社和歌山医療センター

(順不同)

京都府、大阪府における拠点病院間連携

<京都府>

京都府では、京都府がん対策推進計画にもとづき、小児がん患者に対する診療体制の強化を行っていくため、小児がん拠点病院連携推進会議が組織された。

思春期・若年成人の骨軟部腫瘍例、再発・難治例、造血幹細胞移植を必要とする例、肝移植などを要する例について、ブロック内の医療機関と連携して、小児がん拠点病院に集約化する。

<大阪府>

大阪府下の5大学病院、小児血液・がん学会専門医研修施設による大阪府小児がん連携ワーキンググループ(WG)(10施設)を組織し年2回程度の会議を開催する。

それぞれの施設が対応可能な疾患、治療法について情報を共有し、すべての小児がん患者が適切な小児がん医療を受けられるようにする。

拠点病院5施設が主に担当する地域

- **京都府立医科大学附属病院**
京都府、福井県、滋賀県、石川県、岐阜県
- **京都大学医学部附属病院**
京都府、福井県、滋賀県、和歌山県、奈良県
- **兵庫県立こども病院**
兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、高知県など、中・四国東部
- **大阪市立総合医療センター**
大阪府、兵庫県東部、奈良県、和歌山県、中・四国東部。
- **大阪府立母子保健総合医療センター**
大阪府、奈良県、和歌山県、中・四国東部。

連携の具体的な方法

- 「近畿ブロック小児がん拠点病院協議会」設置
拠点病院5施設の連携体制構築
(2013.2.16, 6.12, 10.19 開催)
- 「近畿ブロック小児がん診療病院連絡会」設置
小児がん診療病院を加えて設置。
(2013.10.19開催)
いずれも年1~2回程度の会議を開催し、連携を強化する。
拠点病院間の情報交換はメーリングリストも活用する。
- 小児がん患者の紹介及び逆紹介人数の把握は地域医療連携室・診療情報管理室の施設間連携を強化して行う。

地域連携を進めるための取組

<近畿ブロック全体の計画>

- 近畿小児がん研究会(年1回開催) 2014年2月15日開催予定
- 近畿ブロック小児がん講演会(年1回開催) 2013.10.19開催
- 施設内症例カンファレンスや回診への相互参加、手術の相互見学

<京都府>

- 京滋小児悪性腫瘍懇話会、小児固形腫瘍フォーラム、
- 京都地区小児血液腫瘍研究会
-

<兵庫県>

- 兵庫県小児血液腫瘍症例検討会、兵庫県小児Tumor Board、
- 多施設医師参加の講演会(随時)
- 患者家族会会合
-

<大阪府>

- 小児がんカンファレンス
- 研究会、症例検討会などの共同開催(年2回開催)

長期フォローアップの仕組み

治療サマリー・長期フォローアップ手帳を活用し、患者の転居などに伴う受療医療機関変更に対応する。拠点病院以外の施設で長期フォローアップされている患者の相談には、拠点病院の相談窓口を活用する。

人材育成

1) 研修の実施予定

基本的には施設ごとに研修を計画するが、拠点病院による合同研修も計画する。施設内からの参加はもちろん、他の拠点病院・小児がん診療病院にも案内し積極的参加を促す。

医師だけでなく看護師、コメディカルを対象とする研修会を計画・実施する。

・・・近畿ブロック拠点病院看護部連携会議を開催した。

2) 人材交流の実施予定

・施設毎の研修プログラムに沿って、拠点病院及び小児がん診療病院の医師、看護師、コメディカルの若手を中心に相互研修を行うことで人材交流を行う。

・小児血液・がん専門医取得を目指した臨床研修、および小児がん認定外科医資格取得を目指した臨床研修の受入れを行う(5拠点病院計画書参照)。

近畿ブロックにおける小児がん医療の課題

- 脳腫瘍の集約化
- AYA世代の治療体制
- 人材育成(後期研修医の受入れ等)
- 交流(相互協力)
- 相互情報提供(疾患ごとの治療レベル向上を目的)
- 患者・家族支援の連携

おわりに

拠点病院5施設それぞれに得意分野・特徴があることから、自治体・地域ごとに小児がん診療を担うというよりも、疾患・治療法ごとに得意分野を活かす役割分担が可能と考えている。

近畿ブロックにおける小児がん医療の在り方が、わが国における小児がん医療連携のモデルとなるような実績を目指したい。